

【 日韓スポーツ交流 2019ハンドボール競技(男子・受入) 】

2019年10月10日～15日

開催国：日本・都市：熊本

試合結果報告

10月14日(月)

JPN(日本)	VS	KOR(韓国)
14	前半	9
12	後半	16
	第一延長	
	第二延長	
26	合計	25

個人得点

No.	名 前	得点
2	親泊 寛粋	1
3	土岐 勇斗	1
4	伊禮 颯雅	8
5	清黒 瞳太	2
6	横田 怜	1
7	鎌仲 大夢	3
9	栗田 哲太	1
10	杉本 愷哉	
11	下川 陽向	4
12	松下 幸祐	
13	安里 健伸	2
14	後藤 圭汰	2
15	細野 聖太	1
16	久木崎 匠	
18	安達 圭吾	
19	竹下 晴日	
	合計	26

試合結果

戦評

日韓スポーツ交流、男子U16日韓戦熊本ラウンドは女子世界選手権が行われる、山鹿市にて開催されました。

韓国ラウンドでは1点差での惜敗。リベンジを誓い臨んだ第2戦はオープニングセレモニーも代表戦と同じ流れで実施され、いやがうえでも緊張感が高まる中、試合が行われた。韓国のスローオフでスタート。幸先よく3番 土岐のポストで日本が先制。すぐさま韓国も77番のロング、3番サイドシュートで応戦。その後、韓国ゴールキーパー、日本16番 久木崎の好セーブで得点が動かない緊迫した試合となったが11番下川の速攻、4番 伊禮のカットイン、6番 横田のサイドなどで4-4の同点とする。前半15分、韓国がタイムアウトを要求。タイムアウト後は逆に日本ペースとなり5番 清黒、7番 鎌仲、13番 安里の速攻などで日本が14-9と5点リードで前半を折り返した。前半はゴールキーパーの好セーブと6-0DFと3-2-1DFを上手く使い分けた日本の理想的な展開となった。

後半も更なる勢いで韓国に対してリードを広げたい日本であったが韓国3番のサイドシュートや速攻、8番のカットインに苦しめられ、後半9分には19-18と1点差まで追い上げられてしまう。ここからは一進一退の攻防が続き日本が練習を積んできた7人攻撃から11番 下川のサイド、4番 伊禮のカットインで反撃すると、韓国も相変わらず好調を維持する3番のサイド、77番のロングで応戦。最後までどちらに勝利が転がり込むか目の離せない展開が続く。残り5分、7人攻撃からの2番 親泊のポスト、9番 栗田のサイドで加点。残り15秒で4番 伊禮がロングを叩き込み、26-25の1点差で勝利した。前半に比べてミスからペースを韓国に握られてしまった後半の戦い方には課題が残ってしまったが、練習を積んできた7人攻撃で高い成功率を上げることが出来たのは収穫であった。

報告記入者：

山口 修